

経営比較分析表（令和5年度決算）

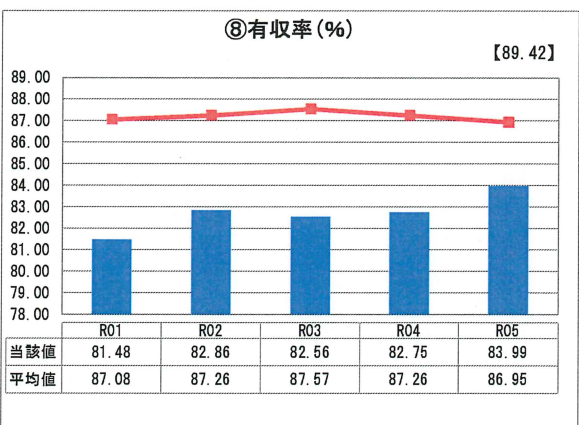
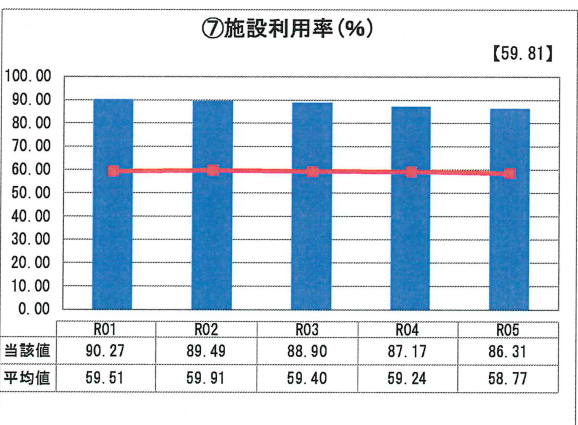
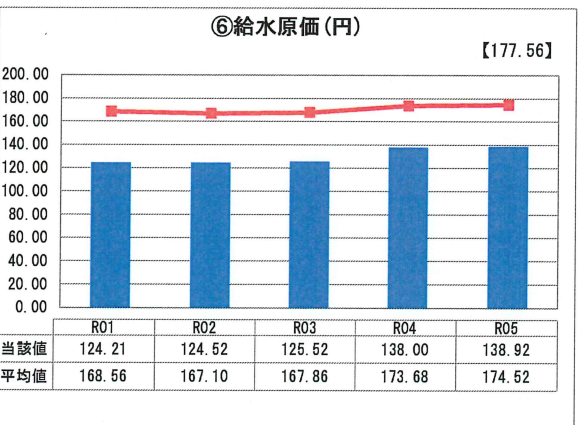
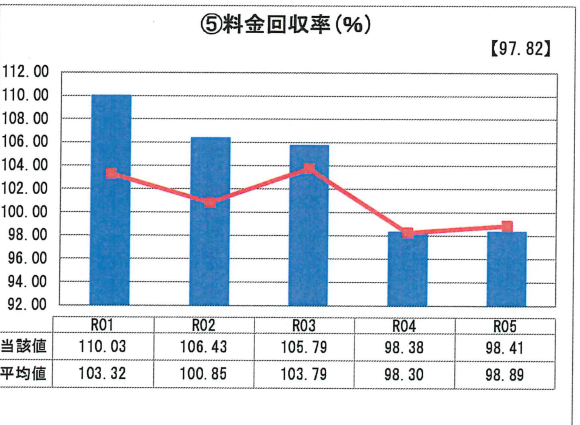
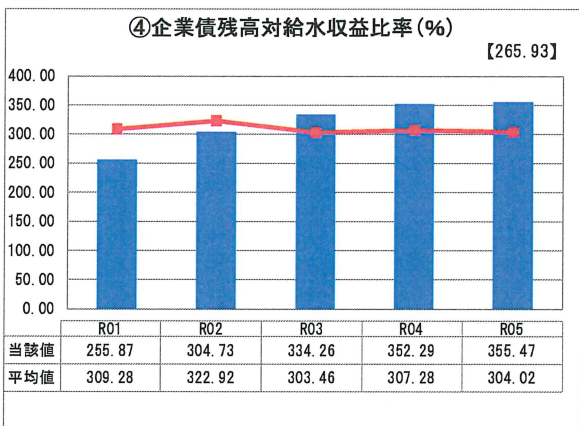
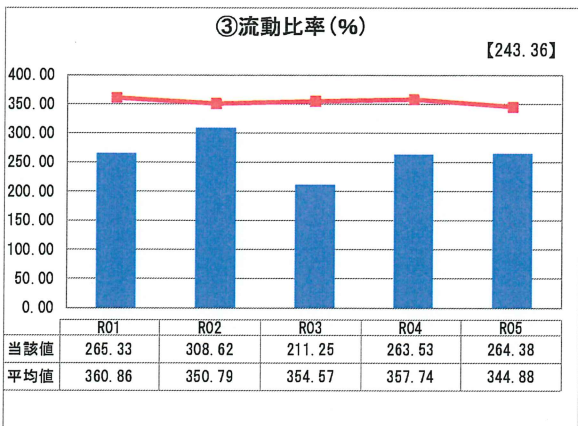
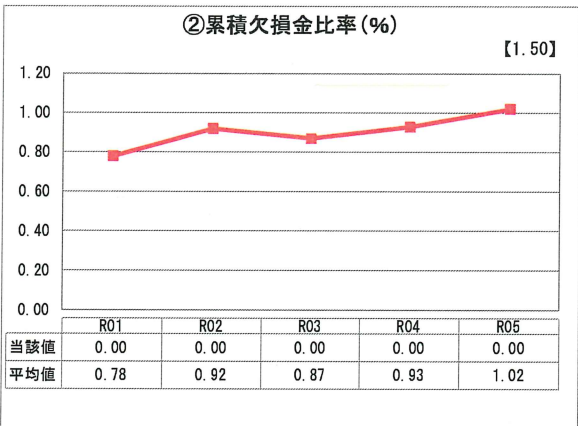
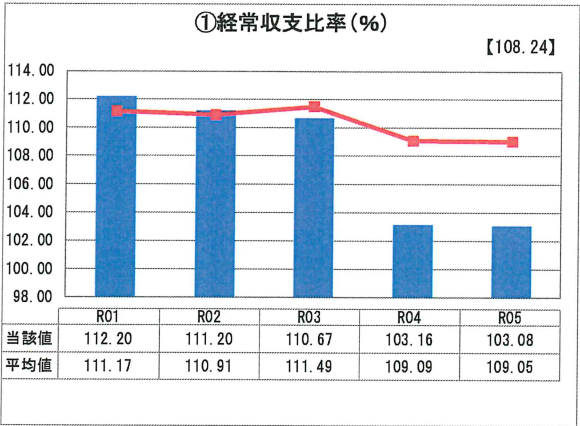
滋賀県 野洲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	63.11	99.96	2,541	

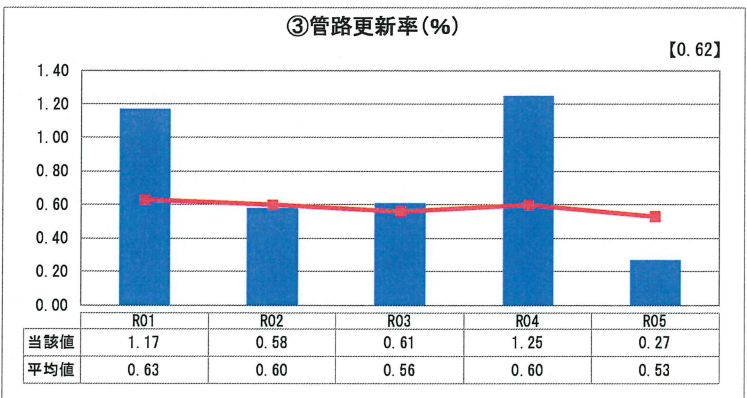
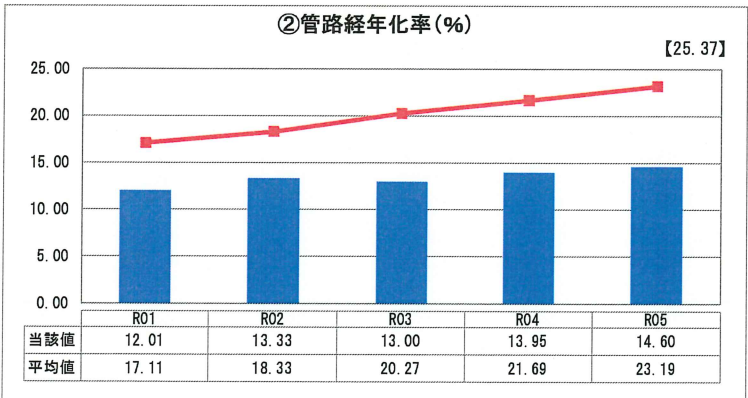
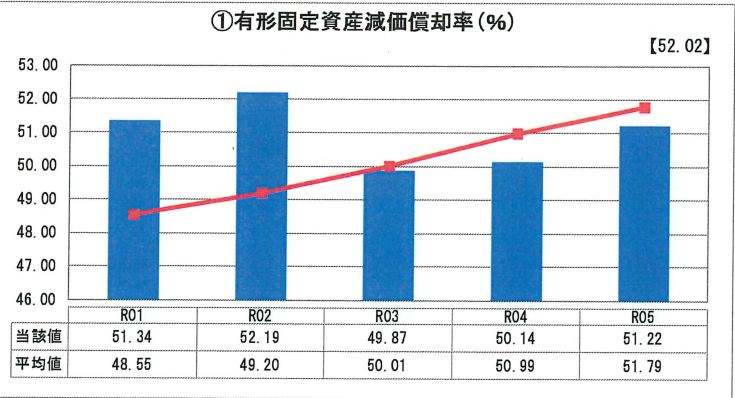
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,711	80.15	632.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
50,637	45.35	1,116.58

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率は100%を超えており累積欠損金比率も0であるため、安定した経営状況で推移しているが、近年の更新投資の増加や物価高騰の影響で大きく悪化している状況である。

流動比率は100%を継続して超えており、短期的な財政状況も安定している。

企業債残高対給水収益比率は、更新投資の増加により増加傾向にある。

料金回収率は100%を下まわったが、半導体不足の影響で給水収益が大きく下落したことによるものである。

施設利用率は類似団体と比較して高い水準であり、効率的な施設運営ができているといえる。

有収率は、類似団体と比較して低い水準で推移しており、老朽管の更新等の対策が必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、徐々に高くなっている。今後も老朽管の更新を進めていく必要がある。

管路経年化率は類似団体と比較して低い水準であるが、水道整備から約40年を経過しようとしているため、今後数年で著しく悪化していく懸念がある。

管路更新率は、経年管路の更新を進めているが令和5年度は更新工事の実施設計を中心に行ったため、前年度と比較して減少している。

全体総括

今後も安心、安全な水の安定供給のため、引き続き老朽管の更新や浄水施設の整備を進めていく必要がある。また、そのための財源確保のために、効率的な事業運営を実行していく。

経営比較分析表（令和5年度決算）

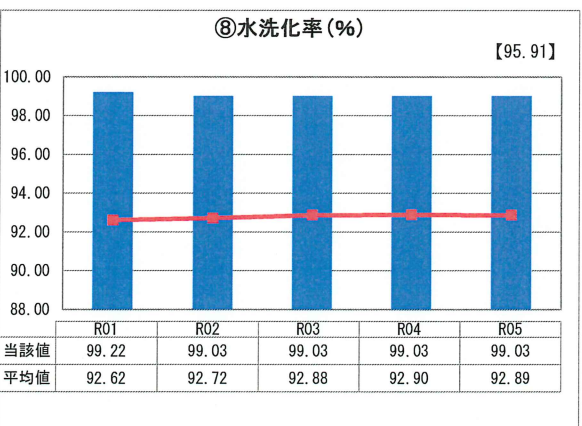
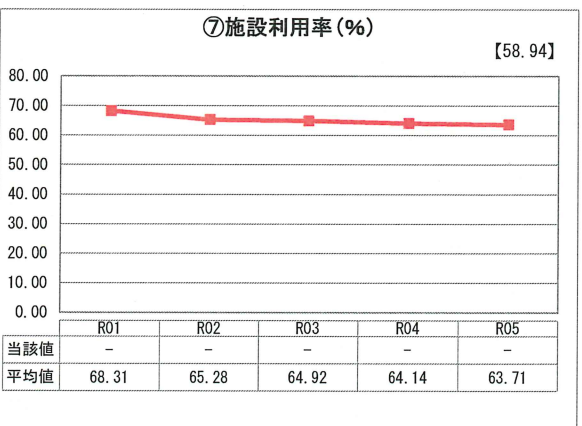
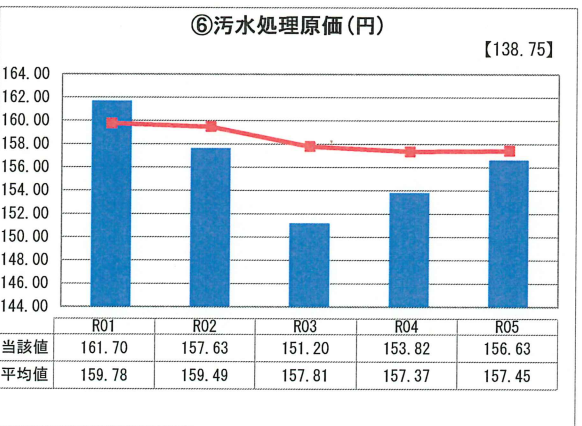
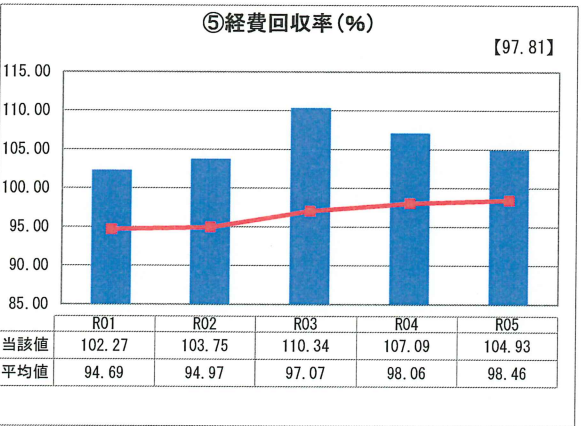
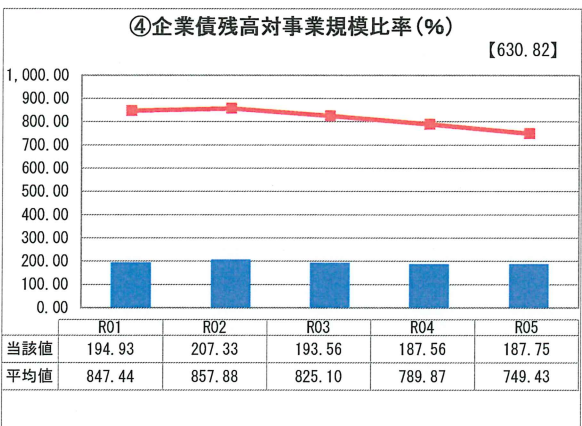
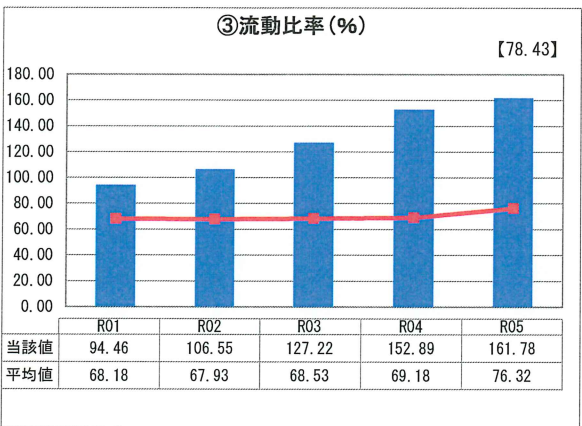
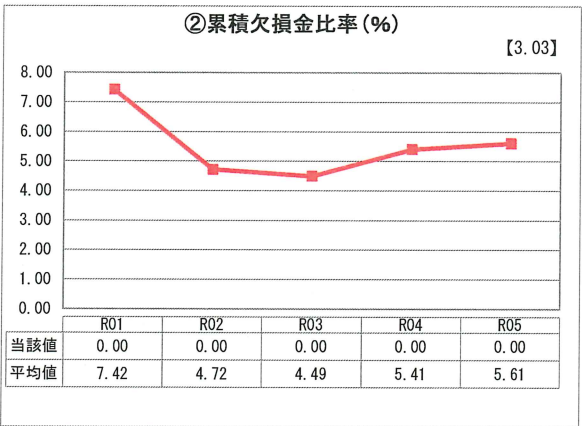
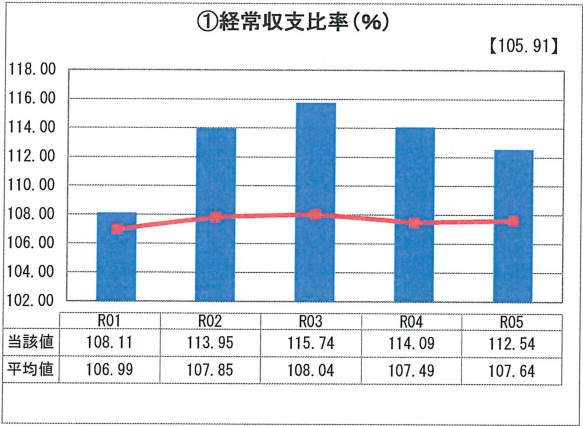
滋賀県 野洲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.81	79.05	85.53	2,921

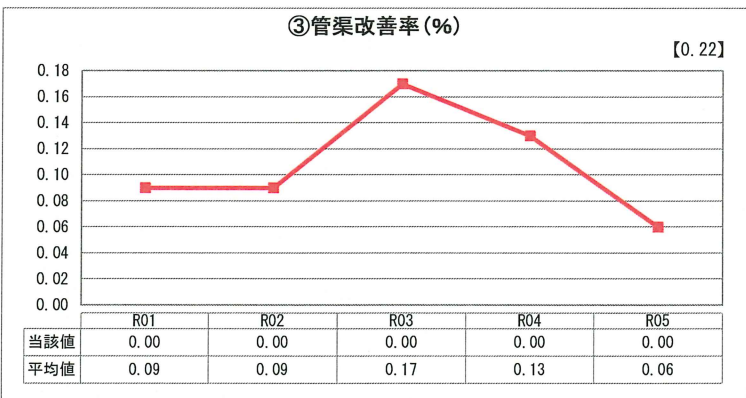
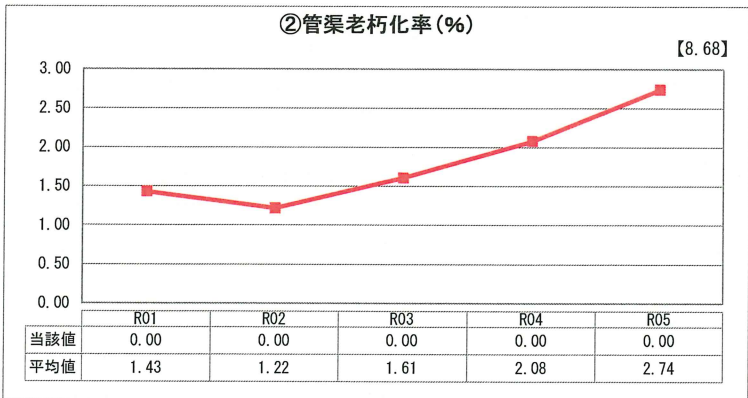
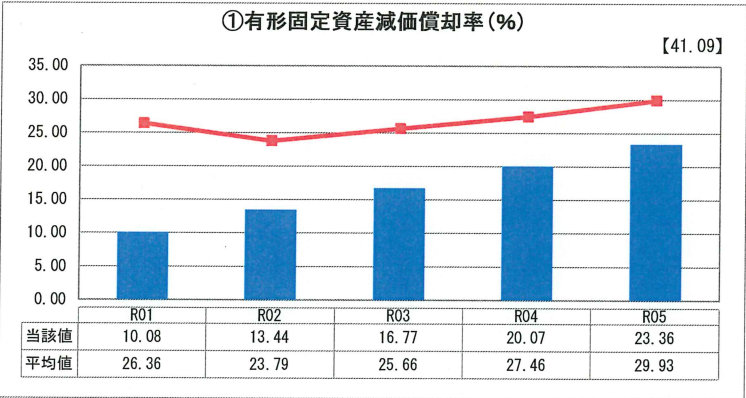
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,711	80.15	632.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
40,047	9.75	4,107.38

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え、累積欠損金比率も0であり、安定した経営状況である。また、流動比率は100%を超えてきており、短期的な支出に対する資金が賄えつつある。しかし、更新財源等を考えると十分財源が確保されている状況ではなく、経営改善を進める必要がある。

企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して低い水準となっている。

経費回収率は100%を上回っており、類似団体と比較してやや高い水準となっている。

污水处理原価は類似団体と比較して低い水準となっている。

施設利用率は流域関連下水道であるため、0となっている。

水洗化率は、類似団体と比較して高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準となっているが、年々資産の老朽化率が上昇しつつある。

管渠老朽化率、管渠改善率は0となっており、耐用年数を超えた管路はない。しかし、今後増加していくことが見込まれるため、更新需要の把握が必要となる。

全体総括

有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準となっているが、年々資産の老朽化率が上昇しつつある。

管渠老朽化率、管渠改善率は0となっており、耐用年数を超えた管路はない。しかし、今後増加していくことが見込まれるため、更新需要の把握が必要となる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和5年度決算）

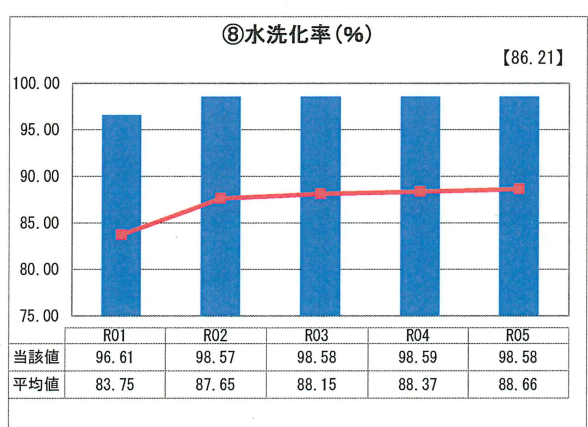
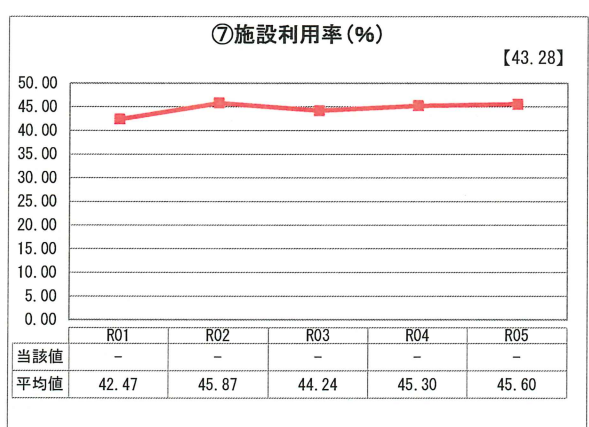
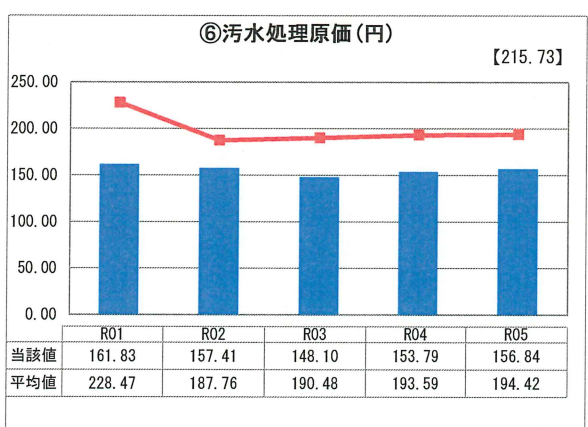
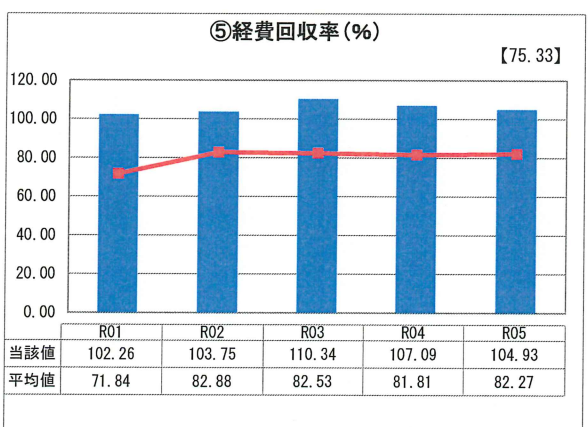
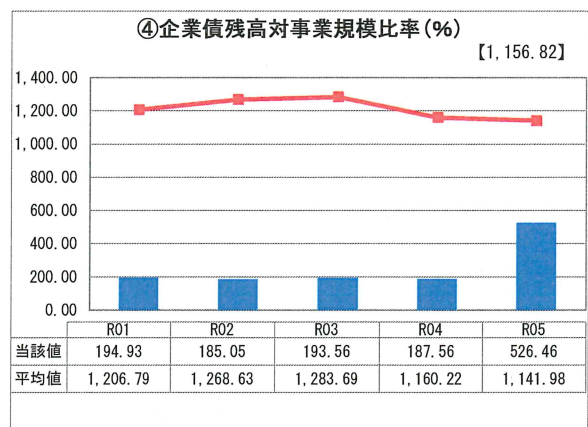
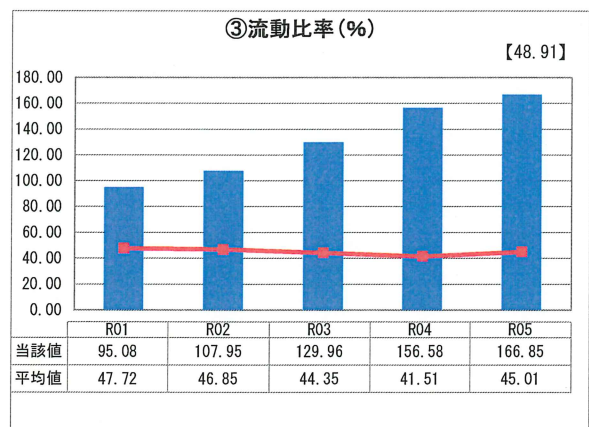
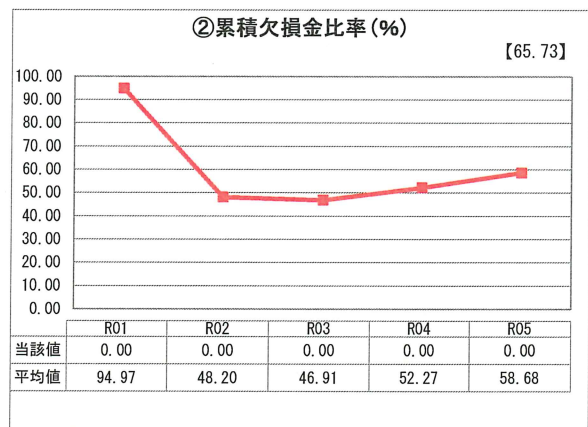
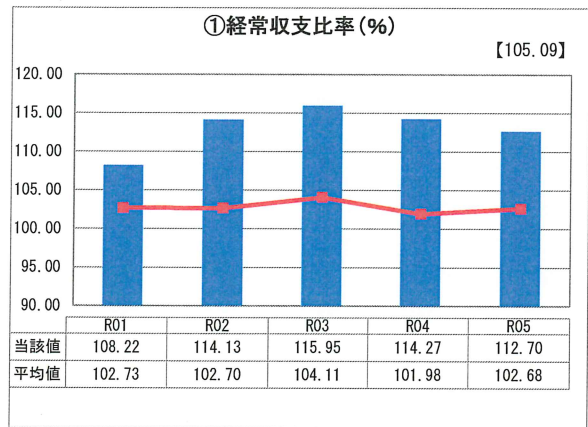
滋賀県 野洲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.60	19.92	85.42	2,921

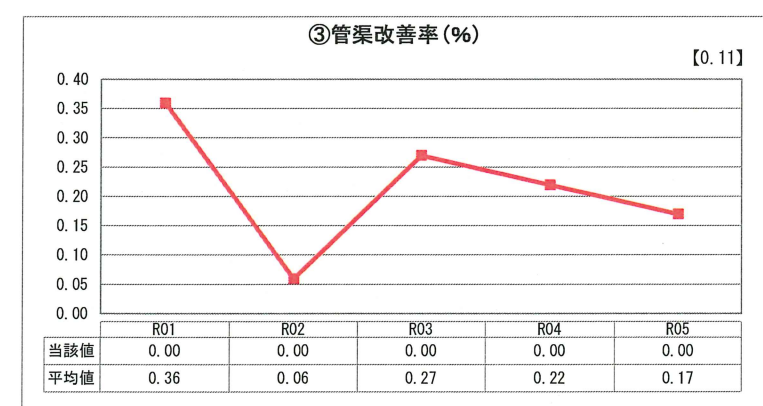
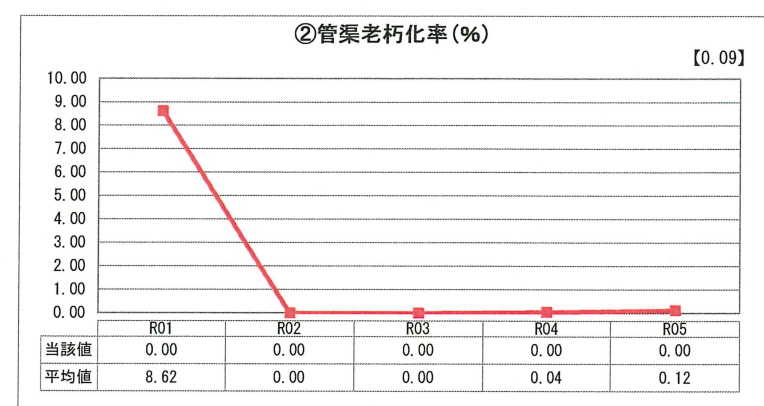
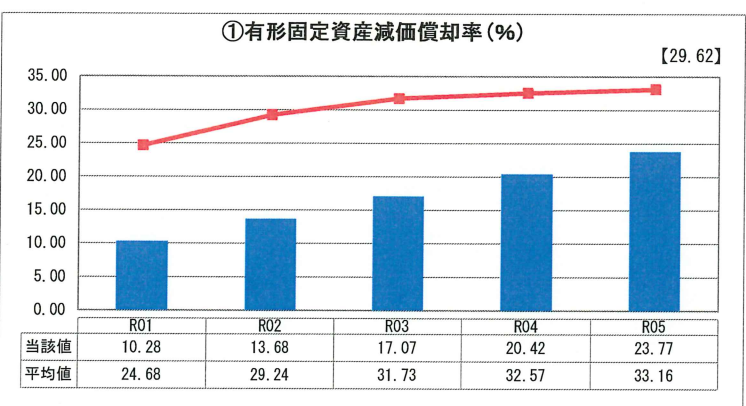
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,711	80.15	632.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,089	3.50	2,882.57

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え、累積欠損金比率も0であり、安定した経営状況である。また、流動比率は100%を超えてきており、短期的な支出に対する資金が賸えつつある。しかし、更新財源等を考えると十分財源が確保されている状況ではなく、経営改善を進めることが必要である。

企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して低い水準となっている。

経費回収率は100%を上回っており、類似団体と比較してやや高い水準となっている。

汚水処理原価は類似団体と比較して低い水準となっている。

施設利用率は流域関連下水道であるため、0となっている。

水洗化率は、類似団体と比較して高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準となっているが、年々資産の老朽化率が上昇しつつある。

管渠老朽化率、管渠改善率は0となっており、耐用年数を超えた管路はない。しかし、今後増加していくことが見込まれるため、更新需要の把握が必要となる。

全体総括

有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して低い水準となっているが、年々資産の老朽化率が上昇しつつある。

管渠老朽化率、管渠改善率は0となっており、耐用年数を超えた管路はない。しかし、今後増加していくことが見込まれるため、更新需要の把握が必要となる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。